

東京科学大学女子卓球部 4部5部入替戦 戦評レポート

2025年10月4日、駒沢体育館にて行われた関東学生卓球女子4部5部入替戦。
5部優勝を果たした東京科学大学女子部は、4部最下位の東京理科大学との昇格決定戦に挑んだ。
勢いそのままに挑んだ一戦だったが、結果は1-3で惜敗。悲願の4部昇格は来季へ持ち越しとなった。

■ キャプテン都、気迫のストレート勝ちで先制

第1試合は主将・都が理科大のエース塚田と対戦。

序盤からサービスエースで流れを掴み、ツッツキとスマッシュを織り交ぜた攻撃的なプレーで11-7、11-7と連取。

第3ゲームを落とすも、勝負の第4ゲームでは塚田の強打を冷静にブロックでさばき、11-9で勝利。

エース相手に堂々たる試合運びを見せ、チームに貴重な先制点をもたらした。

■ エース馬、フルゲームの激戦を落とす

続く第2試合は、チームのエース馬が登場。

第1ゲームを11-2で圧倒し好発進したが、第2ゲーム以降は理科大・笠井の粘りに苦戦。

両校がタイムアウトを挟む緊迫した展開の中、最後は笠井のドライブに押され、9-11で惜しくも逆転負け。

勝敗を分けたのは、要所でのサービスミスと流れを掴みきれなかった終盤の攻防だった。

■ ダブルスで流れを失い、張も力尽く

第3試合のダブルス（馬・張組 vs 塚田・久保田組）は、序盤こそ互角の展開を見せたものの、

徐々に理科大ペアの安定した攻撃に押され、0-3で敗戦。

この結果、東京科学大は追い込まれた状況で第4試合を迎えた。

張はシングルスで久保田と対戦したが、序盤から相手の正確な3球目攻撃に苦しみ、思うような展開を作れず。

最後は2-11で力尽き、チームは1-3で敗退となった。

■ 科学大女子卓球部、初の入替戦出場が残した足跡

主将・都の奮闘が光ったものの、チーム全体としてはミスの少なさと安定感で上回った理科大に及ばなかった。

入試制度改革や大学合併により女子比率は上昇傾向にあるものの、女子団体チームの維持には今後も新入生の入部が不可欠である。

そうした状況の中で迎えた今回の入替戦は、東京科学大学女子卓球部にとって初の舞台であり、選手たちが自らの力で掴み取った貴重な経験となった。

この戦いを糧に、科学大女子卓球部は次こそ4部昇格を果たすべく、さらなる挑戦を続けていく。

文責 沖